

帯笑園保存会 会報

発行元 保存会事務局
 発行責任者 鈴木 泰次
 2019年 3月 27日
 No. 9

帯笑園がリニューアルオープン

一昨年来、市では西蔵、臨春亭の耐震補強工事に続き、東側の都市計画道路の拡幅工事を行って来ましたが、三十年度には、歩道の新設と道路舗装、交差点の改良等の工事が行なわれ、三月末には新たな景観が眺められることとなります。外周の塀、生垣や門、駐車場や多目的広場、さらには屋外トイレの新設などが行われて来しました。

平成十三年に「再発見 原宿と帯笑園」と題した千葉大学教授小野佐和子先生による講演が行われ、地域の宝・帯笑園に対する関心が高まったのを契機に保存会が結成され運動が始まってから十七年にもなります。この間、帯笑園に対する理解を広める毎月の見学会や帯笑園ゆかりの桜草鑑賞会など地道な活動が継続して



工事中の門と外構

営まれてきました。帯笑園の保存を市に要望する署名は五千筆にも上り、当時の斎藤衛市長に提出されました。市の内部では関係課が対応を協議しましたが、帯笑園の保存には数億円の費用がかかることが予想され、実現は難しいとされました。転機となったのは、国の補助制度が抜本的に見直され、それまで個々の事業ごとに国に補助金を申請していたものが、原地区全体として整備することが望ましい事業を一括りとして申請できることとなり、帯笑園の整備が原の歴史や文化を活かしたまちづくりにつながる事業として認められたのでした。

こうした変化を受け、市の対応も前向きとなり、ついに市は帯笑園の保存を決定したのでした。栗原新市長が帯笑園の保存についての学術的な裏付けを求めたことから、文化財センターでその調査・研究が行われました。その結果、帯笑園に残された植物と庭園に関する豊富な資料は、江戸時代後期の園芸や庭園の有様をうかがい知る歴史的な価値が高いことが認められ、国の文化財として登録されることになりました。

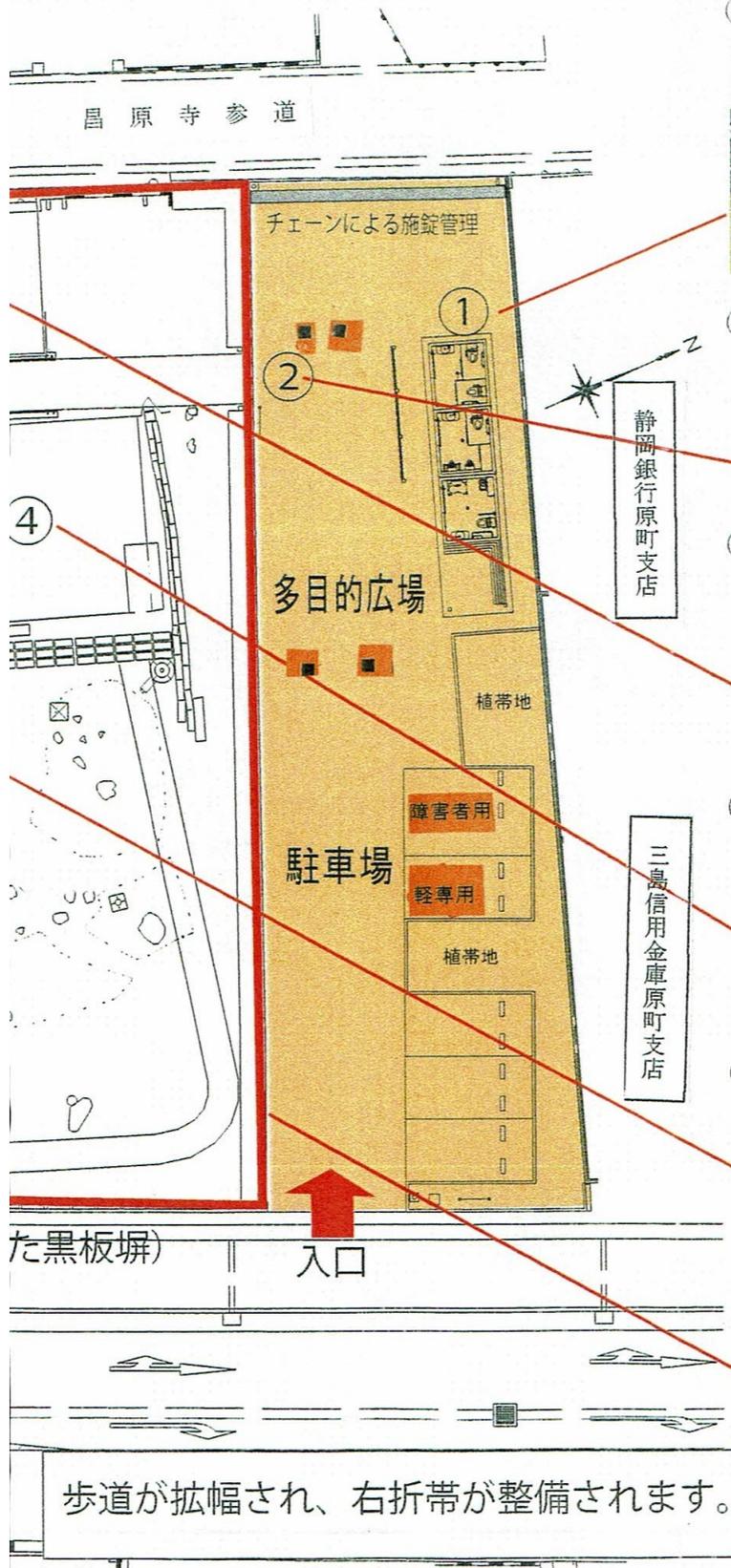
地域の人々の心に宿る宝として守り伝えたい

本会では、有識者のご意見に基づき、植松家に伝わる帯笑園の資料が展示でき、人々がくつろぎ交流を深める場として整備すべきことを提言書にとりまとめ、市に提出した経緯があります。市の限られた予算の中で思うに任せなかつたところもあり、道路拡幅部分に茂っていた樹木のほとんどは管理がし難いという理由から伐採される憂き目を見るなど残念なことはありましたが、原地区の人々の地道な取り組みに市が理解を示し、帯笑園が残された意義は大きいものです。

原地区の人々、これから原で暮らすことになる人々にとって、帯笑園は大切な歴史的文化的資産です。原地区が他に誇るべき地域の資源として守り伝え、人々の心の中に帯笑園が宿るようにしてゆくには、どのような愛護活動を展開してゆくべきか、本会と地域に住む皆さんに課せられた大きな命題です。

リニューアルオープンを機に、ますますの発展と向上が期待される本会の活動に多くの皆さんのご理解とご支援をお願いいたします。

桜草鑑賞会と琴の演奏会は
四月十四日(日)に変更します。



①屋外公衆用トイレ（夜間施設）



②園内入口



③西蔵



④臨春亭



⑤居間蔵



生垣

帯笑園整備イメージ（完成予想図）

名称：帯笑園（たいしょうえん）

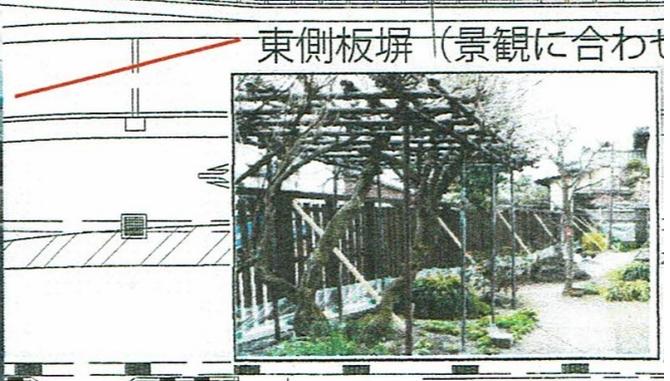
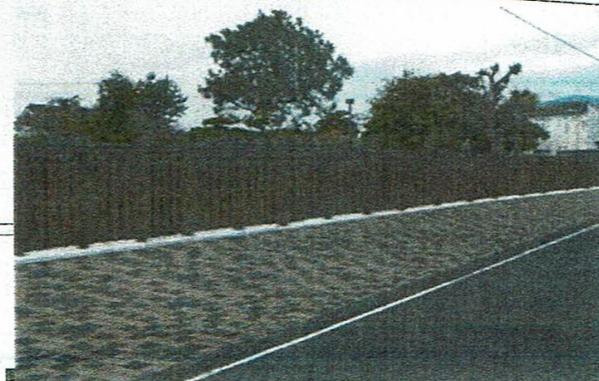
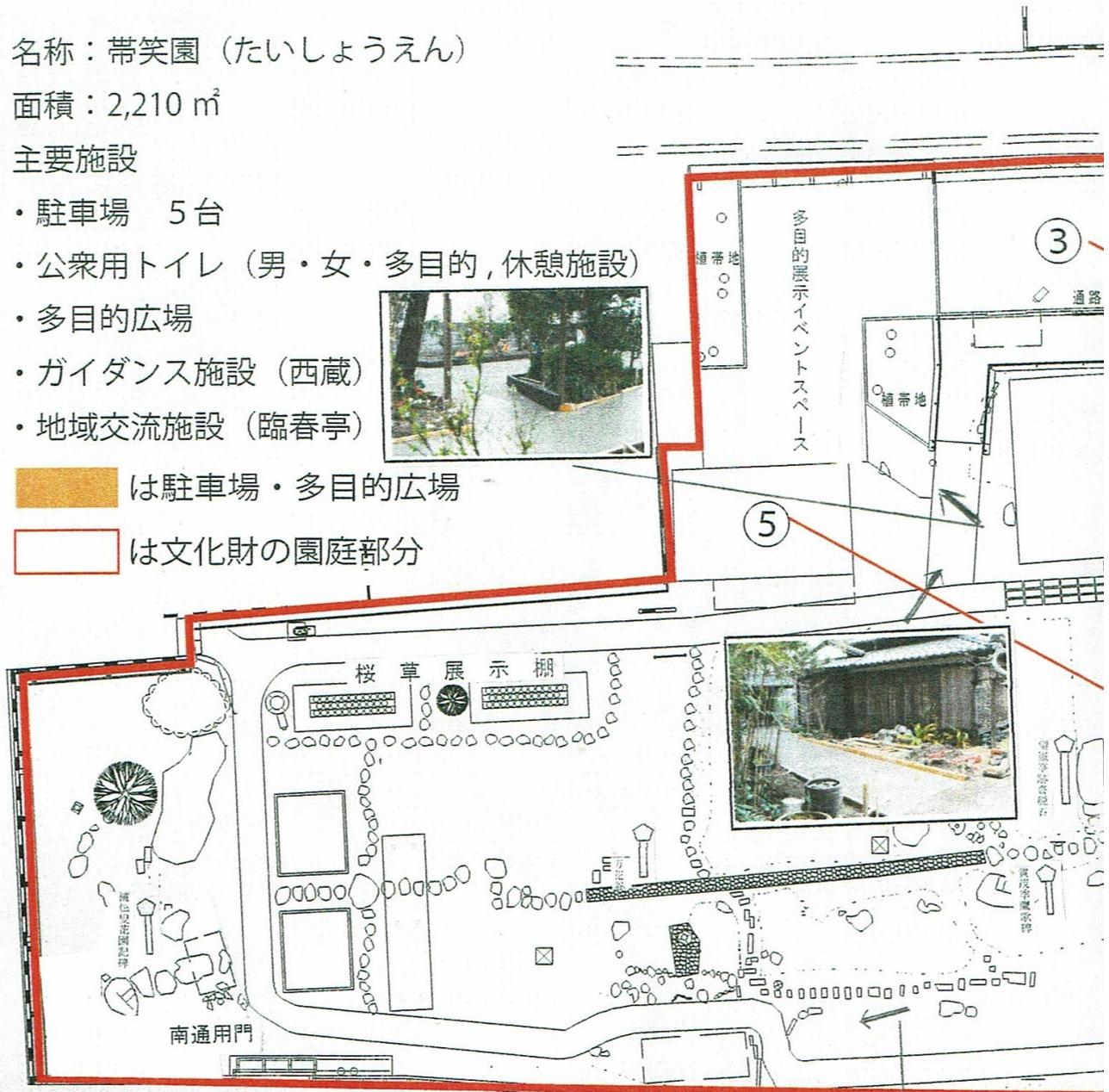
面積：2,210㎡

主要施設

- ・ 駐車場 5台
- ・ 公衆用トイレ（男・女・多目的, 休憩施設）
- ・ 多目的広場
- ・ ガイダンス施設（西蔵）
- ・ 地域交流施設（臨春亭）

 は駐車場・多目的広場

 は文化財の園庭部分



温暖化で開花時期が早やまったため

桜草鑑賞会の開催日を早めました

これまで桜草の観賞会は四月二十九日の祝日に開催して来ましたが、ここ数年は二十九日には桜草は散っていて展示できない事態が続き、開催時期を早めてほしいとの要望がありました。

白隠さんの虫干し展に合わせて開催し、徳源寺も寺宝展を開催するなどして来ましたが、肝心の桜草の展示ができなくなれば桜草鑑賞会の意味がなくなってしまう。本会としては苦渋の選択ではあります。新年度から二週間前倒して開催することにしました。二十九日の祝日開催が定着していましたが、早めに広報に努めこれまで同様大勢の皆さんに鑑賞に訪れていただきたいと願っています。

なお、鑑賞会、琴の演奏会、煎茶会の日程と二十九日に新たに開催するえびね山野草の展示会、原婦人会茶道部茶会の催しについて左に掲げますので、お間違えのないようお願いいたします。

桜草鑑賞会、琴の演奏会、煎茶会

4月14日(日) 9時30分～13時

桜草の展示 ぬまづさくらそう会(真野契子代表ほか)
 琴の演奏 山田流家元渡辺富鳳、鳳代賀先生ほか
 煎茶会 黄檗弘風流煎茶道による茶会(玉露茶)

えびね山野草の展示会

4月28日(日・祝) 10時～16時
29日(月・祝) 9時～16時

表千家流茶道茶会(原婦人会茶道部)

4月29日(月・祝) 9時30分～13時
 臨春亭で抹茶の点前

市によるオープニングセレモニー

4月29日(月・祝) 9時～帯笑園門前
テープカットなど式典開催
終了後、樹木医による記念講演会開催

沼津市が運営する帯笑園の管理について

新年度から帯笑園は沼津市の手で運営されることになりましたが、本会は、管理の不行き届きで樹木が折られたり、花壇に足を踏み入れるなどして庭が荒らされたりしないよう、市に強く申し入れをしてきました。その結果、開園時間や運営方法について、基本的には次のようになりました。

利用 年末年始を除き、朝九時～午後四時とする。

庭園外 駐車場、屋外トイレの利用は毎日。

庭園内 入園は、土日祝日(団体予約を除く)のみ。

管理 市が、樹木の剪定、除草・清掃作業、屋外トイレの清掃、警備等の業務を業者に委託。

案内 本会が、門、西蔵、臨春亭の開閉、内部の展示物の説明、庭園の案内などの管理業務の一部を市から受託。

右のように区分して運営・管理に当たりますが、実際には、来場者への対応や台風や災害時の対応など予想できない管理上の難しさがあるのですが、初年度ですから先ずは始めてみることにしました。来園した方々からのご意見を踏まえ、運営の改善に努めますので、いろいろとご意見をお聞かせ下さい。

帯笑園ガイドを募集しています

土日祝日に、来園者をご案内し、片手間に簡単な清掃や雑草取りなどをする業務を市から受託しました。

最初は経験を積んだ役員等から講習を受けて、徐々に慣れていただくようにしますから心配ありません。毎月一、二回程参加していただけたらうれしいです。一日が大変なら半日を二回という組み合わせもできそうです。あらかじめ、一、二か月先の予定を組みますから、できそうな日を決めて参加することができます。些少ながらお礼も差し上げます。

*お問い合わせは下記事務局(〇九〇・六七六一・三二六七)まで